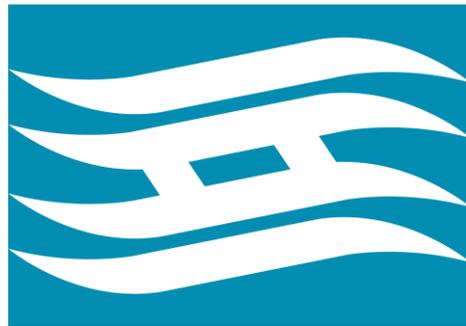


ひょうごウクライナ支援プロジェクト

～ひょうごは、ウクライナとともに～



×



ひょうごウクライナ支援プロジェクト

1 避難民の状況

(1) 来県状況 **63 組 123 名** (神戸市、姫路市、尼崎市、芦屋市、宝塚市、川西市、淡路市)
(うち12名出国、5名県外転出。現時点での在住者106名)

(2) 県営住宅提供実績 **17 戸** (R6.3.31時点)

2 ウクライナ避難民等相談窓口相談件数 (実施主体：(公財)兵庫県国際交流協会)

相談内容			計
支援依頼	支援申出	その他	698件
494	190	14	

(R6.3.31時点)

相談例① (支援依頼)

住宅支援、生活支援、日本語教育、就労に関すること 等

相談例② (支援申出)

住宅・物資・就業機会の提供、通訳ボランティア 等

3 ふるさとひょうご寄附金「ウクライナ支援プロジェクト」

寄附状況 **5,555件 96,633千円** (R6.3.31時点)

ひょうごウクライナ支援プロジェクト

4 ひょうごウクライナ避難民生活支援金 (実施主体：(公財)兵庫県国際交流協会)

支援内容		実績(R6.3.31時点)
生活準備のための一時滞在支援	最大200千円/世帯	1,220千円/ 8世帯
生活開始のための一時金支給	500千円/世帯	15,500千円/31世帯
生活費	最大1,440千円/世帯	14,160千円/32世帯
合計	最大2,140千円/世帯	30,880千円/33世帯

5 ウクライナ避難民への日常生活コーディネーターの設置

支援内容	実績(R6.3.31時点)
(特非)多言語センターFACILに配置したコーディネーターが、各種支援機関・市町等と調整しながら、避難民の暮らしへの日常支援を実施(通訳含む)	213件
避難民に対して母国語等による電話での生活相談を実施(ウクライナ語、ロシア語)	212件

ひょうごウクライナ支援プロジェクト

6 ひょうごウクライナ避難民支援 公民連携プラットフォーム

登録状況 **59法人・団体** (R6.3.31時点)

(実施主体：(公財)兵庫県国際交流協会)

支援実績

AI翻訳機、生活用品、食料品、家電製品、住居、電子マネー機能付きカード(10万円チャージ分/世帯)、QUOカード(5千円/人)、就業機会の提供、イベント(コンサート等)への招待 等



AI翻訳機の提供

7 JICA関西センター宿泊施設の無償提供

締結日 **令和4年7月14日(木)** ※JICAが同内容の覚書を締結するのは兵庫県が初めて

8 日本語教育等

- (1) (公財)兵庫県国際交流協会が、文化庁の補助を活用し、避難民対象の日本語講座や支援者向けの研修会をオンラインで実施。

対象者	内容	実施時期	受講実績
ウクライナ避難民	・地域の方との交流に必要な入門期の日本語を学ぶ	R4.8.22(月)～ R5.8.28	3講座 11人
日本語学習支援者	・県内の受け入れ状況、支援体制 ・心理的なケアや支援に際しての留意点 ・日本語教育の実践例等	R4年 3回開催 ①6/16(木) ②7/13(水) ③1/12(木)	①55人 ②42人 ③28人

ひょうごウクライナ支援プロジェクト

(2) 公共職業能力開発施設が日本語教育を含む職業訓練を実施。

実施機関	内容	実施時期	受講実績
県立神戸高等技術専門学院 (神戸YWCAに委託)	<ul style="list-style-type: none"> ・日本で働くために必要な日本語、パソコンスキル、ビジネスマナーなどを身につける ・月10万円の職業訓練受講給付金が支給される 	R4. 9.16～12.15 [3ヶ月]	4人
		R5. 9.15～12.14 [3ヶ月]	1人

9 こころのケア

県こころのケアセンターが、市町担当者等へオンデマンドで相談・助言に当たるほか、既存研修を活用し避難民を支援する専門職へオンラインで研修を実施。

研修名	開催日	受講実績
「被災者や被害者をささえるために ーサイコロジカル・ファーストエイド(PFA)を学ぶー」	R4.8.16(火)～17(水)	R4 県・4市・1団体
	R5.8.23(水)～24(木)	
「被害者や被災者の中長期の回復を支えるこころのケア ーサイコロジカル・リカバリー・スキル(SPR)ー」	R4.8.30(火)～31(水)	R5 県・2市
	R5.9. 6(水)～ 7(木)	

ひょうごウクライナ支援プロジェクト

10 ウクライナ避難民コミュニティ形成促進事業

避難生活の長期化等を見据え、避難民の安全・安心を支えるため、地域におけるコミュニティ形成を促進することを目的に、避難民県内視察バスツアー、避難民同士の交流会、避難民によるウクライナ文化紹介等を実施。

	実施日	実施場所	内容	避難民参加者数 (地域住民参加者数)	
ツアー バス	1	R5/10/14,15	多可町、西脇市	多可町バスツアー、日本文化体験	約40名
	2	8/25	淡路市 波乗亭	淡路市バレエバスツアー実施	20名
	3	11/23	南あわじ市	南あわじ市バスツアー	約40名
	4	R6/3/24	播磨地域	播磨地域体験バスツアー	33名
交流 会 避難 民	5	8/9	神戸市	有馬温泉イベント(交流会)実施	30名
	6	11/10	丹波市	丹波国際映画祭(ウクライナのアニメ上映)参加	約10名
	7	R6/2/4	神戸市	輝音管弦楽団演奏会	約40名
文化 紹介 等	8	R5/7/5~7/20	養父市 市立養父中学校 等	ウクライナ避難民撮影による風景写真展	5名 (約650)
	9	8/12~8/16,19			
	10	11/28~12/12			
	11	7/26	豊岡市 芸術文化観光専門職大学	ウクライナ避難民プロダンサーによる特別講義	2名(18)
	12	8/5	神戸市 大国公園	のだきた夏祭り出店	約10名(40)
	13	10/28	神戸市 JICA関西	JICA秋祭り(ウクライナ民芸品等の販売)	約20名(180)
	14	11/11	川西市 キセラホール	ウクライナ支援チャリティコンサートでのバレエ披露	3名(約980)
	15	R6/1/27	加東市	小野加東ロータリークラブ講演会 & コンサート	2名(約420)
				計	約225名(2288)

11 情報共有・連携協力体制等

(1) ウクライナ避難民支援等庁内プロジェクトチーム

令和4年4月以降、8回実施。

主な議題は、入国時の課題、支援の流れ、就労、日本語教育、心のケア、長期的課題 等

(2) ウクライナ避難民等支援連絡会議

令和4年3月以降、10回実施。

主な議題は、入国時の課題、支援の流れ、県の支援施策および実施状況、国等の情報提供、避難民受入市町の状況と課題 等

12 令和6年度の取組み

補完的保護対象者認定制度の創設(令和5年12月)、定住支援プログラムの開始(令和6年4月～)等の国の動向などを踏まえ、避難民の自立をより促進するため、以下の取組みを新たに実施

- (1) ウクライナ避難民の支援に取り組む団体が避難民との協力のもとに実施する、①避難民と地域住民の相互理解と交流を促進する事業、②避難民による地域社会への参画を促進する事業等を支援
- (2) 避難民の自立に必要な情報（経済面、生活面、就学、医療制度等）に関するセミナー等を実施
- (3) 生活・学校・日本語・就労・コミュニティのイベント等の情報を冊子やSNSで避難民に提供

ひょうごウクライナ支援プロジェクト

